



■2009年1月のマンスリーNEWS

■コラム

皆様あけましておめでとうございます。

今年もマンスリーからの年賀状です。



一昨年の狛猪、昨年の狛ねずみ、そして今年は狛牛です。この狛牛は京都の宇治、三室戸寺で昨年12月に撮影したものです。

この狛牛は宝勝牛と言ひ、大きく開いた口中には石の玉があり、これを撫でると勝運がつくといわれ、宝勝牛と名付けられています。



宝勝牛の横には「勝運祈願手形」があり、横綱若乃花・貴乃花の手形が並べられていました。

さて写真をよく見てください。牛のお腹に覗き窓があるのわかりますか？実はその覗き窓から牛の胎内を覗くと牛の木像が見えます。

この木像には言われがあります。

昔、富右衛門と言うお百姓夫婦がこの宇治の里に住んでいました。やっとのことで手に入れた子牛が弱々しいので、毎月三室戸寺に観音詣で連れて行っては、境内の草を食べさせていました。すると、その子牛はいきなり粘液のついた丸いものを吐き出しました。夫婦はそれを洗い清め「牛玉（ごおう）」として大切にしまっておきました。玉を吐いたあと牛をどンドン元気になり大きく育ちました。

その評判を聞きつけた強欲の権兵衛が自分の牛と戦わせたいと言ってきました。最初は断っていた富右衛門でしたが、夢に「戦わせてほしい」という自分の牛が出てきて、闘牛を決心しました。結果、富右衛門の牛が勝利し賞金を手にした富右衛門はその賞金を元手に牛の仲買いを始め里一番の大金持ちになりました。

その後、富右衛門は年老いて仏門に入り、そのとき京都の仏師に牛の木像を作らし、「牛玉」とともに三室戸寺に奉納したというのが、この宝勝牛なのです。

これは三室戸寺の古鐘の龍頭です。榎島合戦のおり、当山の僧が足利義昭に味方したため、伽藍は破壊





され、梵鐘も没収される事となりました。鐘は秀吉の部将、増田長盛の手に移り龍頭のみ切り取られ、床の置物とされました。

ところがたちまち病に伏せる事となったので、長盛はこれを梵鐘破壊の祟りと思い鐘を還そうとしましたが、「破鐘、寺に無用」と当山の僧は受付ませんでした。長盛は陳謝し病氣平癒の祈禱を依頼すると、病氣は癒え、毎年御供米百俵おくるようになったといひます。

なでるとお金のかえる龍頭

鐘も寺に還ったことから、この鐘の龍頭をなでると金（鐘）がかえると古来より伝えられています。

ここ数年毎年、京都を訪れて翌年の干支である猪・・・を撮り続けています。

今回の宝勝牛は勝運で、古鐘の龍頭は金運によいそうで皆様の分もお祈りしてきました。今年の景気は引き続き良くなさそうですが、出口が無いということは絶対にないので歯を食いしばって頑張っていこうと思ひながらこの三室戸寺を訪ねました。

■コラム
■私達アークルは・・・!?

どうやら飲料業界は売上昨年ギリギリを推移している感じです。やはり12月は飲料メーカー各社とも景気の影響を少し受けたようですが飲料市場全体の数字では昨年並みという結果に終わりそうです。

この業界はどちらかというと景気に左右されにくい業界の一つですが、我社の飲料自販機オペレーター業界にしてみると今年はかなり厳しい状況が待ち構えていると思ひています。

なんと言ってもタスポの影響はとて大きく、この落ち込みを新規設置分でカバーしきれないのが現状で、それによって飲料メーカーが自販機投資から手売り市場に力を入れるということになると、業界も少し変化が出てきそうです。

とにかく私達はお客様のニーズに答えられる自販機サービスを磨いていくことと、自販機の新たな市場を開拓していくことを止めるわけにはいきませんので、今年も気合を入れてビジネスを展開してまいります。



現在私達はほぼすべて飲料メーカーに対応することが出来ます。（コカコーラ・伊藤園は除く）直接、オペレートするのはDYDO・SUNTORY・JTですがその他は委託などで対応できるようになりました。最近人気なのは白ベンで、売れ筋の商品を1台の中に入れることが出来るタイプの自販機です。もちろん白ベンも当社は対応していますので、何かご要望がありましたらご連絡ください。

またタスポ装着後、売上げ減少に悩んでいるタバコ店のオーナー様に売上げを取り戻すをご提案が出来ようになりました。もし興味があればご連絡いただければ、ご説明に上がります。

ということでアークルは自販機のプロとしてお客様と歩んでまいりますので、何卒よろしく願ひします。

■コラム
■12月の売れ筋商品

DYDO売れ筋ベスト5	SUNTORY売れ筋ベスト5
1位 ダイドブレンドコーヒー	1位 ボス贅沢微糖

2位	デミタスコーヒー	2位	ボスレインボーマウンテン
3位	Mコーヒー樽	3位	ボスプレミアムクリア
4位	朝摘み290ボトル缶	4位	ボスカフェオレ
5位	Ti-Haミルクティー	5位	ホット伊右衛門275ボトル缶

DYDOはミルクティーサントリーはホット伊右衛門が上位に顔を出し始めました。

■コラム

■大量消費社会に転機か!?

12/26日経新聞より

今後の自動車業界のことを考えるのに面白い記事が載っていました。現在本当に車が売れなくなっている状況のようで、大きな転換期に来ているのは間違いなさそうです。

自動車レースの最高峰F-1から撤退を決めたホンダ。理由は不況だけではない。「今起きているのは繁栄の百年への変わり目の危機だ」と福井威夫社長は考えている。

「小型・低燃費で原材料を極力使わない車作りを目指す」という掛け声の下、F-1につぎ込んだ数百人を脱資源に向けた研究開発に再配置する。世界初の大量生産車となるフォードの「T型フォード」発売、世界最大の自動車会社となるゼネラルモーターズの設立・・・自動車産業の起源となる出来事が起きたのはちょうど百年前だ。以来、「自動車の世紀」をけん引した米大手が政府支援を求める事態になったのは金融危機という外部要因だけではない。

ニューヨーク原油先物相場が1バレル147ドル台の最高値をつけたのは7月中旬。その2ヶ月後に本格化した金融危機が急激な需要調整を促すが、金融危機がなくても100ドル超の原油価格が続いていれば自動車販売の大幅減は免れなかった。中国が将来、4人のうち3人が車をを持つ米国並みの車社会になれば今の世界需要を上回る量の石油を中国一国で消費するようになるとの試算もある。金融危機が去っても自動車産業にはエネルギー危機や地球温暖化問題という爆弾が残る。

エネルギー、環境問題だけではない。中国での需要拡大を横目に日本では国内を走る車の数を示す保有台数が8千万台を目前に昨年末から減少に転じた。大きな要因の一つが若者の車に対する姿勢の変化だ。

自動車を初めて買う層となる20～30歳代の人口は2005年で3412万人と1980年比で約7%減少。そうしたパイの減少に加え、携帯電話の普及などの生活スタイルの変化で車へのこだわりも薄れてきた。

「若者が店に来なくなった」。自動車販売店から嘆きの声上がる一方で、レンタカー大手のオリックス自動車では大学生協を通じた割引チラシの配布で学生顧客を急拡大中。チラシを片手に全国の店舗を訪れた大学生の数は11月の前年同月比で5割増えた。矢野経済研究所によれば国内のレンタカー保有台数は08年調査で36万台と5年前から16%増加。車を持たず必要ならば借りればいいという層が増えている。

米国では多くの世論調査でGMなどの政府救済に過半数が「反対」と回答。人々にとって自動車はもはや特別な産業ではなくなりつつある。

今後は高齢者人口も大きく増加。自動車の普及加速が道路や各種商業施設の開発を促し、経済全体のパイを広げるという20世紀型の大量消費社会そのものが見直されようとしている。

自動車の世界市場は年300兆円規模。350兆円規模のIT産業に主役を譲ったもののガソリンや保険などの周辺産業を含めれば06年で48兆ドルだった世界のGDPの約1割に達する。その巨大産業が衰退の道をたどるのか、それとも新たな成長の道を見いだすのか。今後100年を左右する大きな岐路を前に企業や政府は大胆な発想の転換が迫られている。

皆さんは今後の自動車産業はどうなると思いますか？この記事を読むと確かに自動車産業の潮目を変ったかもしれません。F-1などレースでの技術を一般車にフィードバックしたり、いかに早く走るための技術向上を目指してきた自動車メーカーでしたが、今後は「いかにローコストで生産できるか？」「いかに環境にやさしい車か？」「いかに燃費のよい車か？」などが求められるのでしょう。また日本国内では車に乗らないという風潮が大きくなってきているようです。例えばカーシェアリングのような仕組みも今後ますます出てくるでしょう。

今後自動車産業がどのように変化していくのか、興味深々です。



今年の初めはスカイラインGT-R
に話題が・・・

年末はトヨタIQに話題が・・・

なんと、世の中の流れは速いのだろう！！

■コラム

■激ウマ!B級グルメ情報 第17弾 激安!

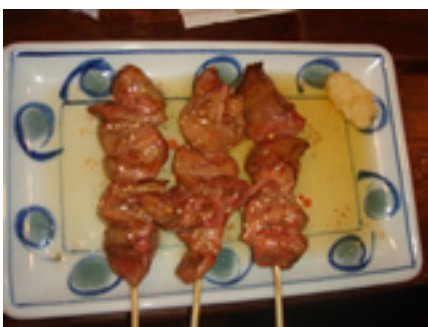
絶品焼き鳥！！

昨年8月号で紹介した海老ワンタンを紹介してくれたYタイヤのKさんから、「値段が安くて絶品の焼き鳥屋に連れて行ってあげる。」というお誘いを受けました。確かに安くて旨い焼き鳥屋さんでしたので、今回紹介したいと思います。場所は横浜の片倉町になります。

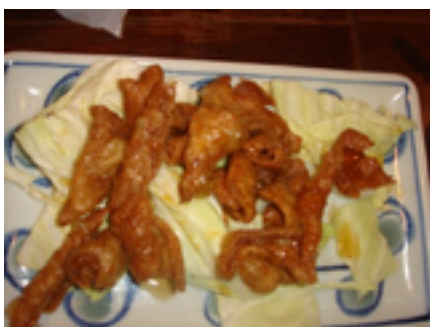
店内はとても狭く、12~3人も入れれば一杯になってしまいます。鶏は大地鶏を使用し、毎日捌いたものだけを使っているそうです。ということで刺身系も絶品でした。



砂肝・ささ身・レバ etc・・・



レバ (フォワグラのようです)



皮の素揚げ (パリパリです)



ぼんぼち (お尻の部分?)



ばくだん (ボリュームあり)



合鴨



もちベーコン

価格は126円・157円・210円・231円の4種類です。

店名：「とり紀」

場所：横浜市営地下鉄 片倉町駅すぐ

すぐお客さんで一杯になってしまうので、早めの時間に行くのがお奨めです。



めは旨い鶏スープの茶漬けで

■コラム

■アークルの人達ブログ・絶好調連載中です!

ただいまブログは8名が更新中です。

- ・所長のブログ (小田原H所長)
- ・チーフの給湯室 (小田原Mチーフ)
- ・情報最前線 (海老名K所長)
- ・促進課・ほしやんの鼻からうどんいれたるか
- ・促進課オヨヨ
- ・販促課オオクワ80mm
- ・産地直送!新鮮ネタ (海老名Nチーフ)
- ・古本おやじの独り言 (98キロの人面冷凍マ
グロ)



お正月休みを利用して再度スリランカに行ってきました。今回は世界最大の紅茶の産地、ヌワラエリヤという所に行きました。見渡すかぎり、お茶畑です。

■コラム

■編集者の一人言

最近ニュースを見ていると、派遣労働者の首切りが話題に取り上げられています。先日も日比谷公園の無職になった人達のテント村の様子を放映していました。テレビの解説者はとても悲劇的でいかにも会社や役所、政府の対応が悪いというようなコメントをしています。

本当にそうなのでしょうか?今現在就職したければ、働くところはたくさんあるような気がするのはわたしだけでしょうか?職種を選ばなければ、そして収入減もいとわなければ、働き口はたくさんあるのではないのでしょうか?働く側の意欲の問題も多少はあるのではないのでしょうか?会社だって、必要な責任を与えてまっとうしている人をそう簡単に首切りするのでしょうか?

「政府が悪い。会社が悪い」と知ったふうな事を言っている解説者にとっても腹が立ちます。ビル清掃、配管工事、パン工場、介護施設、道路工事関係などはいまだに人員が足りないと言います。この状況がとても悲劇的だと煽るような報道はどうかと思います。

今月は以上です。又、来月号も宜しくお願いします。

■2008年度のマンスリーNEWS

➡	2008.12	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.11	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.10	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.09	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.08	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.07	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.06	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.05	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.04	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.03	アークル	マンスリーNEWS
➡	2008.02	アークル	マンスリーNEWS

	2008.01	アークル マンスリーNEWS
---	---------	----------------

■マンスリーNEWS アーカイブ

	最新	マンスリーNEWS トップページ
	2007年度	2007年のマンスリーNEWS アーカイブ
	2006年度	2006年のマンスリーNEWS アーカイブ
	2005年度	2005年のマンスリーNEWS アーカイブ
	2004年度	2004年のマンスリーNEWS アーカイブ
	番外編	マンスリーレポート 番外編